

政策専門課程 第9期 (平成26年7月23日～平成26年8月8日)

課 目 名	多文化共生の地域社会
時 限 数	2 時限
担 当 講 師	<p>慶應義塾大学経済学部教授 柏崎 千佳子 <プロフィール></p> <p>1998年5月 米国ブラウン大学大学院博士課程修了 (Ph. D. 社会学) 1999年4月～ 上智大学文学部社会学科講師 2001年4月～ 慶應義塾大学経済学部助教授 (2007年から准教授) 2012年4月～ 同 教授</p>
ね ら い	<p>1990年代以降、日本に暮らす外国人が増え、地域社会への受け入れが課題となっている。本講義では、地域での多文化共生の取り組みに焦点を当て、人口減少・少子高齢化が進む社会における外国人・移民の受け入れと統合をめぐる課題について理解を深めることをねらいとする。</p>
講 義 概 要	<p>地域において「多文化共生」を推進する意義と課題について考える。現在、「多文化共生施策」と呼ばれるものは、1970年代から始まった外国籍住民に関わる取り組みと、1980年代半ば以降の「国際化」に関わる施策群を中心としている。本講義では、まず自治体レベルでの在住外国人施策の展開をたどる。そして、具体的な取り組み事例も紹介しながら、多文化共生の推進における自治体の役割を検討する。また、国の政策と自治体の施策との関わりにも着目する。具体的には、次のような項目を取り上げる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 外国出身者の増加と地域社会の変化 ・ 自治体の在住外国人施策の展開 ・ 多文化共生の推進——総務省「推進プラン」と自治体での指針づくり ・ 分野別の課題——情報提供、教育、市政参加 ・ 国の政策の動向——在留管理制度、高度人材と技能実習生の受け入れ促進 ・ 人口減少・少子高齢化社会における多文化共生の展望
受講上の注意	特になし
使用教材	講義レジュメ
効果測定	なし
そ の 他 (他の課目との関連)	なし